

年間授業計画

教科・科目	保健 [1] 単位	対象学年・組	1学年 全クラス
教科書 副教材	現代保健体育（大修館）	教科担任	青木 泉 ・ 五十嵐 寛

学習目標	疾病の構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であるということを理解できるようにする。
------	--

学期	月	単元	時間	学習内容	学習上の留意点
1学期	中間まで	①オリエンテーション ②現代社会と健康 ・私たちの健康のすがた ・健康のとらえ方 ・健康と意思決定・行動選択	6	・健康の考え方や保持増進の方法は変化し、個人の適切な意思決定が重要であることを理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
	期末まで	・健康に関する環境づくり ・生活習慣病とその予防 ・食事と健康	4	・生活習慣病を予防し、健康を保持増進するには、適切な食事、運動、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を実践することが必要であることを理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
2学期	中間まで	・運動と健康 ・休養・睡眠と健康 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	7	・喫煙、飲酒は、生活習慣病の要因となり健康に影響があること、また、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全に対して影響を及ぼすことを理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
	期末まで	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・欲求と適応規制 ・心身の相関とストレス	5	・新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、新興感染症や再興感染症の発生があることを理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。
3学期		・心の健康と自己実現 ・交通事故の現状と要因 ・交通社会における運転者の資質と責任 ・安全な交通社会づくり ・応急手当の意義とその基本 ・心肺蘇生法 ・日常的な応急手当、心肺蘇生法	7	・自己の欲求の充足が精神の健康と深くかかわっていることを理解できるようにする。	健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考判断し、適切に対処できるようにする。

評価の 観点・方法	参加：欠席・遅刻・授業態度をみます。
	活動：実技の実践・実技レポート
	定着：実技テスト
	その他：特になし